

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 10日

事業所名 門真市障がい者福祉センター  
放課後等デイサービスすてっぷ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	レイアウトや装飾で工夫。	児童の成長と共に、物理的なスペースの減少がある。人数や状況に応じて一時別室で分かれて過ごすなど工夫をする。
	2 職員の配置数は適切である	50%	50%	状況に応じて各クラスの移動を行う。	送迎時の添乗員数が足りない場面が増える可能性あり。非常勤勤務も視野に入れる。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	スロープ、エレベーターの設置。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	80%	0%	現状の課題を吸い上げ、話し合いを設けている。全体で共有し、改善案を募るなどしている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	90%	0%	対応可能なもの・エッセンスを取り入れる等工夫を行なっている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	90%	10%		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	40%	30%	第三者ではないが、同グループ内の事業所から内部監査として評価してもらっている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	内部・外部問わず、定期的を実施している。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	定期的にモニタリングや面談等で聞き取りを行い、把握したうえで個別支援計画を作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	70%	10%	ツールは無いが、現状把握や行動への対策を定期的に行っている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	70%	20%	職員間で話し合うなどし、全体に周知することで取り組んでいる。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	70%	20%	支援計画にとらわれ過ぎず、遊びの中に別の活動を取り入れる等工夫をしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	70%	10%	平日とそれ以外では活動内容に変化を持って取り組んでいる。普段できない支援は長期休暇などを使い取り組んでいる。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	90%	0%	児童によって必要があれば支援を計画している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	40%	50%	平日は朝礼にて行っている。長期休暇などは個々に議事録の確認を行う。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	60%	30%	平日は終礼にて行っている。長期休暇などは個々に議事録の確認を行う。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	80%	10%	内容については不備があればその都度訂正し、改善している。時間がかかる面もありそれぞれ工夫している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	90%	0%	最低半年に一回のペースでモニタリングを行い見直しをしている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	70%	10%	その日の状況や人数によって臨機応変に支援を行っている。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	70%	20%	開催時は参加している。必要であれば看護師が参加する等取り組んでいる。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	90%	0%	各学校とはメール・FAX・電話を用いて行っている。近隣への駐車トラブルにならない様話し合う事もある。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	90%	10%	主治医指示書をいただき対応している。必要に応じて病院と連絡も行っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	30%	50%		保護者・相談支援事業所からの聞き取りが中心となっている。いずれ共有していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	90%	10%	保護者了承のもと、関係機関との共有を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	70%	10%	同市内の事業所が集まる連絡会にて情報共有・連携している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	10%	80%		新型コロナ感染拡大により中止している。今後実施予定。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	20%	40%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時・経過記録・モニタリング等にて共有している。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	20%	50%	トレーニングまではいかないが、必要に応じて話し合いの支援は行っている。職員が学んでいる最中のため、今後実施したい。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	90%	0%	契約時・モニタリング等の場にて実施。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	80%	0%	相談があった際は、職員間で共有し対応策を検討して個別にお伝えしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	90%	0%	定期的で開催している。また、年に一回、同事業所内の生活介護と合同での交流会も行っている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	90%	0%	苦情には出来る限り早急に解決策を検討し、対応(説明)している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	90%	0%	機関誌を発行している。また、行事についてはお知らせを配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	90%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	90%	0%	保護者に関しては手紙やLINE、電話等を使用 児童は表情・写真カード等の使用をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10%	70%		新型コロナ感染拡大により中止しているが、再開予定。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	80%	10%	ミーティング等にて周知・マニュアルの周知。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	80%	10%	定期的に災害等を想定した訓練の実施をしている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	80%	0%	外部研修で得た内容を内部研修で周知している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	90%	0%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	90%	0%	主治医から指示書を頂いている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	90%	0%	いつでも閲覧できるようにしている。 会議の場で周知している。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 5月 10日

事業所名 門真市障がい者福祉センター  
放課後等デイサービスすてっぷ

保護者等数(児童数) 回収数 26 割合 100 %

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	92%	8%	0%	0%		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	88%	4%	0%	8%		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	96%	0%	0%	4%		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	92%	8%	0%	0%		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	77%	19%	0%	4%		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	42%	19%	12%	27%	今後コロナが緩和され交流できる機会ができれば良いなと思います	延期中の為、開催できれば実施する予定
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	96%	4%	0%	0%		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	88%	12%	0%	0%		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	65%	15%	0%	19%		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	88%	8%	0%	4%		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	92%	8%	0%	0%		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	92%	8%	0%	0%		
14 個人情報に十分注意しているか	92%	4%	0%	4%			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	92%	4%	0%	4%		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	88%	8%	0%	4%		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	88%	12%	0%	0%	楽しすぎてもう家には帰りたくないと言っています。	
	18 事業所の支援に満足しているか	96%	4%	0%	0%	他の所と比べてとてもしっかりみなさんの意識が同じで動かれていますので満足しています	

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。